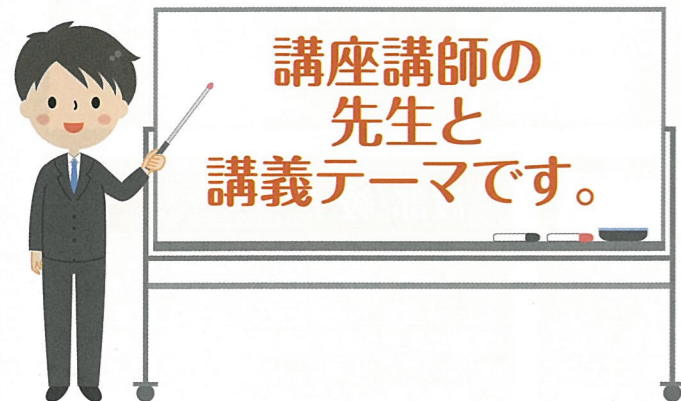


## 「社会で生きる学び」講座が開催されました

平成31年2月9日(土)午前中に、市内3校会(北高、南高、東高)主催「社会で生きる学び」講座が北高を会場に開催されました。祈月書院と鳥取大学医学部の協力を得て、主に市内3校の出身で社会の第一線で活躍している職業人や研究者から学び、語り合う行事です。当日は北高生22名を含む総勢85名の1・2年生が参加しました。



講座講師の先生と講義テーマです。

「意外と身近な総合商社  
～世界中のニーズを『つなぐ』シゴト」

丸紅株式会社  
許斐 理恵さん  
(東高H5卒)



「画像情報技術から社会を見る」

東京大学生産技術研究所  
次世代モビリティ研究センター  
特任准教授  
小野 晋太郎さん  
(南高H9卒)



「薬剤師の仕事  
～有機化学を軸として～」

松江赤十字病院  
薬剤部  
南目 梨江さん  
(北高H8卒)



「司法の役割を考える  
～一裁判官の経験から～」

福岡地方・家庭裁判所  
飯塚支部  
鈴木 拓磨さん  
(南高H13卒)



「医学に触れてみよう!  
診療と研究、発見と発明の違いとは!?  
～内視鏡研究の最前線～」

鳥取大学医学部附属病院  
新規医療研究推進センター  
教授  
植木 賢さん



平成31年2月28日(木)に3学期球技大会が開催されました。第1・第2体育館でバスケットボールが行われ、各クラス一丸となり熱戦を展開しました。

### 結果

2年  
男子 ★1位 15R ★2位 13R ★3位 12R・11R  
女子 ★1位 11R ★2位 15R ★3位 17R・13R

1年  
男子 ★1位 24R ★2位 23R ★3位 22R・26R  
女子 ★1位 23R ★2位 27R ★3位 25R・24R



## 普通科1, 2年生「課題研究I・II」 最終発表会を実施しました

3月4日(月)、本校第一体育館を会場に、これまでの取組の集大成として、標記「課題研究I・II」最終発表会を実施しました。

本校では、キャリア教育の一環として、普通科1,2年生を対象にプロジェクト学習「課題研究I・II」を実施しています。この取り組みで、生徒は地域の未来をよりよくしたいと願い、自らが見いだした課題について高校生の視点で考え、その解決策を提案しています。この取り組みをおし、課題解決者として資質・能力を磨くことを目指しています。2学期には、生徒がフィールドワーク等を行い、地域の方々のお世話になりながら、自らの課題の研究を深める活動を行いました。

発表会当日は、フィールドワーク先や保護者の方々もご来校いただき聴衆としてご参加いただき、生徒の発表を聞いて貴重な意見やアドバイスをいただくことができました。

また、島根大学地域未来協創本部 高須佳奈 先生から、発表会についての講評と地域課題研究のプロジェクトをよりよいものするためのアドバイスをいただきました。



### ◆1年生発表

\*個人発表  
(A3の課題研究シート・エビデンス資料を使っでの発表)  
\*2年次に取り組みたい「何とかしたい課題」と取り組みたい具体策を発表



### ◆2年生発表

\*チームによる研究発表  
(模造紙2枚をボードに貼って発表)  
\*課題解決に向けて取り組んできたことの発表



# 転任者



# ごあいさつ

Thank You Good Bye!!

## 校長 小山 理久

古代中国紀元前一世紀に性悪説を主張した儒家の荀子の言葉として紹介されるものとして、「夫れ驥は一日にして千里なるも、駑馬も十駕すれば、則ち亦た之に及ぶ。」があります。意味は、「あの早い馬は一日に千里も走ると言われているが、どんな足の遅い馬でも十日間も歩けば千里の道を行くことができます。」というものです。この後の部分が最重要です。「目標である目的地が定めてさえいれば、千里の遠い道でも、早い遅いであったり、先、後であったりしても、どうして行き着けないことがあるか」と。目標を定め、歩み続ける努力を重ねることが重要であると約二千四百年前に荀子は説いています。それでは、皆さん、目標=理想自己は描けていますか。目標がなければ、努力の仕方もわかりません。まず、目標を！目標達成は、努力した量に比例します。毎日、何かをすれば、必ず何らかの結果が得られる。目標の達成に向けて積み重ねた努力の一つひとつが、目標達成に近づく結果を生むのです。目標を達成しようと思えば、目標を達成する方法を知っているにもかかわらず、目標を達成できない。それはなぜか？やはり桃饅頭でしょう。大きな桃饅頭である大きな目標を定め、その目標達成のために、日々の努力を怠らない小さな目標である小さな桃饅頭を作ることが重要であることは今までもお話ししました。この2年間、母校の校長として、皆さんと先生方、保護者の皆さんさらに卒業生の皆さんの支援を受けながら勤務できたことは大きな幸せでした。大変ありがとうございました。生徒の皆さんがゾウのように自分の限界を想像せず、自分の才能や能力を開花し、大きな桃饅頭を作り上げることを祈っています。

## 教頭 渡部 勝

2年間の母校での勤務は大変思い出深いものとなりました。40年前と変わらない校舎は老朽化していても、そこで学校生活を送る皆さんは、若さと学びに対する情熱に溢れていました。わが子2人もこの学び舎でお世話になり、少しでも恩返しができればと思いつつ過ごしてきました。微力ではありましたが、後輩となるみなさんと共に過ごせたことに喜びを感じています。郷土を愛しながら、「世界の人たる」視点で大きく羽ばたいてください。ありがとうございました。



## 事務長 宍戸 忠

2年間事務室に勤務させていただきました。2年間があつという間で、自分が何かを残せたかはわかりませんが、自由に楽しく勤務させてもらったことに感謝します。ありがとうございました。赴任早々、二本松の一本が枯れてしまったことは、衝撃的な事件でした。何とか後継の松も見つかりました。これからの松江北高の発展とともに二本松の元気な成長も見守っています。質実剛健 がんばれ北高!!

## 岩崎 有司

Hondaの創業者である本田宗一郎は「チャレンジしての失敗を恐れるな。何もしないことを恐れる。失敗が人間を成長させると私は考えている。失敗のない人なんて本当に気の毒に思う。困れ。困らなきゃ何もできない。自分の力の足りなさを自覚し、知恵や力を貸してくれる他人の存在を知るのもいい経験である。」と言っています。北高には知恵や力を貸してくれる多くの他人(先生・友人)がいます。失敗を恐れず未来を描いてください。3年間ありがとうございました。

## 吉田 みずほ

今年のお正月、前任教で3年間持ち上がった学年の生徒たちが、同窓会に招待してくれました。当時やんちゃをしてよく叱られていた子も、勉強が苦手で苦労していた子も、30歳を過ぎ、立派な社会人として、また父親母親として頑張っており、その姿に感動を覚えしました。8年間北高生と接してきて、勉強はもちろん、部活動・行事・日常生活など、様々な面でキラリと光るものを感じる事が多々ありました。皆さんはどんな大人になるのでしょうか？いつでも笑顔でいられる人、周りの人を笑顔にできる人に成長してくれるととても嬉しいです。8年間お世話になりました。

## 金山 弘子

平成22年に赴任して気がつけば9年が過ぎていました。その間に、高校生の学びのあり方も変化し、学んだ知識をどう生かすか、自分で学びを構築する形へ変わりつつあります。思い出すのは北高生の頑張る姿です。活気ある部活動風景、紅陵祭のわき上がる熱気、そして黙々と学習に取り組む姿。1・2年と持ち上がった学年の、高校最後の1年を一緒に過ごせないのは残念ではありますが、すこし離れたところから、皆さんの成長を応援していきたいと思えます。新しい勤務地でも私なりに微力ながら精進していきたいと思えます。お世話になりました。ありがとうございました。

## 佐藤 敦子

北高には6年間の勤務でした。たくさんのお会いがあり、笑いがあり、涙がありました。多くの人に支えられて、こんな私でもなんとかやってこられたように思います。感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。努力に勝る才能はありません。夢をかなえるための努力を決して惜しまず、まっすぐ夢に向かって突き進んでください。いつの日か、大きく成長したみなさんに再会できることを楽しみにしています。

## 才木 克宏

あつという間の7年間でした。初の母校勤務でもあり、かつての懐かしい記憶も蘇り、楽しくも、ハードな時間を過ごすことができました。一方で、創立140周年を校内幹事長という立場で迎えることとなり、全く様子の分からないまま時が流れ、式典当日カゴメの社長さんの記念講演中にパソコン画面が消えてしまい、経験がないほどの冷や汗が流れたことは一生の思い出です(結局コメントが外れていました)。先生方、後輩諸君の益々のご活躍をお祈りしております。

## 坂上 清一郎

9年間勤務させていただきました。今振り返るとあつという間だったと感じます。勉強も部活動も学校行事もすべてに全力を注ぐ北高生という印象は、赴任当時も今も変わりません。そして、それを全力で支える北高教員の一人として過ごせたことを誇りに思います。これからも、そしていつまでも、何事にも全力を尽くす北高であることを心から願っています。たくさんの保護者のみなさんにも大変お世話になりました。ありがとうございました。

## 上栗 まゆ子

短い間でしたが、皆さんと一緒に様々な学校行事に参加することができ、すばらしい思い出をたくさん作ることができました。1年生の皆さんとは、授業で少し関わることでもでき、楽しく過ごさせていただきました。ありがとうございました。皆さんは、廊下ですれ違うと必ず「こんにちは」と挨拶をしてくださいました。いつも心の中で「さすが北高生。すばらしい」と思っていました。これからも、周りの人と自分を大切にしてください。私も地域の大人として、これからも皆さんのご活躍を見守っています。

## 菅原 卓朗

「人生プラス思考」by菅原 私が一番好きな言葉です。多くのことに前向きに挑戦していくことで、自分の自信を少しずつ付けていく。この考えのおかげで今の私があると思っています。皆さんもこれからの人生で苦しいことは多々あると思います。くじけそうなとき、少しだけ前向きに考えて行動してみてください。いかがでしょうか。きっと楽しい未来になりますよ。皆さんと過ごした時間は楽しすぎてここでは語り尽くせません！直接語り合えましょう。4月から会えないことは寂しいですが、同じ松江市内から応援しています。菅原と関わっていただけた皆さん、ありがとうございました！

## 石川 絵美

松江北高校での8年間はあつという間に過ぎてしまいました。その間、とてもたくさんの人とお会いし、そのつながりに支えていただいた8年間でした。生徒の皆さんの学校生活のみならず、様々な場面でひたむきに頑張る姿、いろいろなことにチャレンジする姿には、大きな力ももらいました。皆さんとの出会いには、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。皆さんもこれまでの出会いやこれからの出会いを大切にしてください。本当にありがとうございました。



## 中林 良介

65歳で会社を退職して北高に勤めました。さすがに山の斜面の草刈りは過酷でした。しかし、生徒諸君の「こんにちは」とか「ありがとう」の言葉に癒され、元気に働けました。ありがとうございました、楽しい3年間でした。



## 田中 紗智子

大変なことも多いけど面白いことや驚くこともいっぱい、濃密な学校生活でした。みなさんにとってもそうでは…と思います。「疲れた～」という声をよく聞きます。でも、そのとき多くの人は笑顔です。充実しているのだと思います。でも「休みたい」ともときどき聞きます。そう思うときは休む時間や自分へのご褒美を用意しましょう。ちょっとずつ片付けて(という表現が良いのかは分かりませんが)、少しずつでも前に進めるといいなと思います。みなさんに幸あれ☆ありがとうございました。

## 渡部 綾子

平成20年度から長い間お世話になりました。その間、多くの生徒達との出会いがありました。保健室では涙を流しながらも、教室や部活動に向かう姿からは強さを感じ、その背中を「いつてらっしゃい。」と見送ってきました。強い自分と同じように、弱い自分も自分の中にあっていいと思います。また、順調に進める時であれば、悩んで立ち止まる時もあると思います。そんな時にこそ見えるもの、気づくことがあります。どうか、自分の心と体を大切に。みなさんがこれからも充実した高校生活を送ってくれることを願っています。本当にありがとうございました。

## 渡部 賢二

8年間お世話になりました。この8年間でたくさんの思い出がありました。一生懸命取り組む生徒の皆さんの姿を本当にたくさん見させていただきました。バドミントンにひたむきに打ち込んだり、数学の探求に没頭したり、そして進路実現に向けて暗くなるまで教室で学習したりと、そんな皆さんと共に過ごすことができて本当に幸せでした。ご迷惑をおかけしたことも多々ありましたが、支えてくださった保護者の方々、先生方、そして生徒の皆さん、本当にありがとうございました。



## 土谷 邦人

正誤、善悪、正邪のように物事や人を判断するとき、自分の軸の正負で考え、自分の軸に合わないと思う物事や相手は避けたいことはよくあることだと思います。しかし、避けるという方法では解決しない事態は多々発生します。そういう時は、自分の軸を多次元化して見る(分析する)と良いのかなと最近思います。自分の判断したベクトルがある軸では大きな負の値を持っていても、別の軸で値をとるとなかなか良い数値がでてくる。いつその事その軸に射影してしまえば前向きに考えることができるかもしれない、解決策が見つかるかもしれない。すべてがそうではないですが、考え方の一つだと思います。みなさんありがとうございました。お元気で!

## 南波 陽平

2年間と短い間でしたが、皆さんのおかげで楽しく過ごすことが出来ました。ありがとうございました。皆さんには、情報を鵜呑みにせず自分できちんと判断出来るような大人になるために、好き嫌いをせずに何でも勉強して欲しいと願います。[問]以下の主張に対して反論しなさい。「情報を鵜呑みにしないように」という助言(=情報)に従うことは、情報を鵜呑みにすることになるので、助言に従わないことになる。逆に、助言に従わないことは、情報を鵜呑みにしないことになるので、助言に従うことになる。

## 武藤 立樹

北高の勤務は2回目、5年間お世話になりました。勉学に部活に真摯に取り組む北高生のすごさを日々感じて勤務しておりました。北高に勤務させていただいたことに本当に感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。さらなる高みを目指して生徒のみなさんが日々精進されることを祈念して次の言葉を贈ります。どうぞみなさん、お元気で。「最高の勝利は自分を乗り越えること」 プラトン

## 木村 泰之

大学卒業後から6年間、至らぬ点ばかりでしたが、生徒や保護者、教職員、関係者の皆様に支えられ、そして鍛えていただき、北高での生活を送ることができました。私自身にとっても北高は学び舎で、たくさんの成長の機会を与えてくれました。本当に感謝いたします。挑戦する北高生から、大海原へ出港するエネルギーをもらいました。北高生の成長スピードに負けないように進化し、学び続ける人でありたいと思います。6年間ありがとうございました。



## 来田 良博

松江北高校では7年間お世話になりました。野球部の監督を務めさせて頂きましたが、甲子園出場は叶わず残念です。しかし松江北高校の伝統により勤務最後の年に、夏の甲子園100回皆母校として開会式に参加できたことは一生の思い出となりました。また、生徒部の担当として、特にPTA生活指導委員の皆様には下校指導などで大変お世話になりました。忘れられない北高です。ありがとうございました。



今年度を終えるにあたり、紹介した教職員が異動することになりました。生徒保護者の皆様一言ずつ挨拶を申し上げます。